

ロータリー3分間情報「各ロータリアンは青少年の模範」

研修委員会 副委員長: 廣田 みき

1949年RI理事会は「Every Rotarian An Example To Youth」(各ロータリアンは青少年の模範)という標語を採択しました。

この標語は、30歳までの若い青少年の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点をあてるための言葉で、新世代のためのRI常設プログラムとしては、

- ・インターアクト
- ・ローターアクト
- ・ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)
- ・ロータリー青少年交換

以上のものなどがあげられますが、これらのプログラムは、ロータリークラブ所在の各地域社会の子供たちや青少年たちへの献身の表現として採択したものです。

若い人たちへの奉仕というのは長い間ずっとロータリーの活動プログラムの重要な一部となっているのです。

青少年への奉仕の活動計画(プロジェクト)は世界中で多くの形を取っています。前出のRI常設プログラム以外のものとして、ロータリアンが主催しているものには、ボーイスカウト隊、ガールスカウト隊、運動競技チーム、障害児童センター、学校の安全パトロール、夏期キャンプ、児童養護施設、レクリエーション場、安全運転講習会、共進会、育児センター及び子供病院などがあります。

多くのクラブでは職業相談を提供し、青少年雇用プログラムを確立し、そして「四つのテスト」の活用を促進しています。麻薬とアルコールの濫用防止やエイズの認識プロジェクトがロータリアンによってますます支持されてきています。

ロータリーは、倫理運動として倫理道德を守る人を育てることに本質があり、新世代を育てるためにはまずロータリアン自身が自己研鑽をしなければなりません。

ロータリーの会合では常に心を磨き、去る時には奉仕の実践をということで、新世代の心を育てることを第一義としてこれにあたるのが大切です。

すべての場合においてロータリアンにはその地域社会の若い人々のために社会の一員としての役割の手本及び相談相手となる機会があります。人は他の人々のやり方を見て奉仕することを教わるのです。私達の地域の若い人たちも成長して大人となり指導者になるのですから、その一人一人が将来の世代に奉仕するという同じ願望と精神を達成することが望まれるのです。50年以上前に採択されたこの標語は、今日でも全く同じ重要性を持っています。